

て新聞紙上に表れ始め、一舉にして労働階級の生活の上に大暴風雨が襲ひかゝつて来る。賃金値下げ、減賃、失業の不安、労働時間の延長、資本家的産業合理化に依る労働強化が目の前で労働階級を待つてゐる。そのときが正に労働階級の非常時であり、労働階級の生活危機である。

### ▽健實なる労働組合主義

労働階級は如何にして確固たる方針を持つべきか。労働階級は先ず労働者自身の生活を完全に守る強力なる防壁として健實なる労働組合の中に立て籠らねばならない。健實なる労働組合は當面の任務として労働組合本来の目的を完全に遂行せねばならぬ、労働階級の生活は一部分

この非常時局に當面して労働階級が新しき自覺と確固たる方針を把握してゐなかつたなら、非常時局の混亂の中に、或は左翼に、或は極右に、擧に操縦され、動員されて最先きに、最も重大な犠牲と打撃を蒙らねばならないのが労働階級である。

は思想問題や政治問題で解決されることもあるが、労働階級の直接の生活問題は労働者日常の經濟上の問題の解決にある。

例へば労働組合は労働條件に關すること、労働者の福利共済に關すること、労働者自身の教育に關すること、労働者の人格、技術の向上

發展、更らに労働者相互の個人の諸問題を着々に解決、處理するのを直接の目的とせねばならぬ。即ち労働組合は内に對しては労働者は労働組合員になつておれば將來の問題も責任を持つて解決して貰へると云ふ信頼を常に持たせ、組合員でなければそうした組合の特権を持たずに、損失であるような不安を持たせるまでに組合を信頼させねばならぬと同時に、外に對しては進んで資本家、事業主にも、あの労働組合が労働者を組織し統制してゐる限りは、左翼や極右の思想運動の宣傳、煽動に乗ぜられることななく、又政黨や政治上の問題で労働者が動揺することなく、作業上の不安など一掃されて常にその産業の根柢は盤石の上にあるやうな安心を持たせるまでに信頼されねばならぬ。

日本人は由來、理窟が多すぎる。昨今は非常時の呼び聲の中から無定見で不見識な雜輩が國家を看板にして反動團體を百九十餘も作つてゐる。同じ國家を看板にしながら、僅かの相違を主張し、主義許りを並べて、看板の争ひに熱中して反動團體を作つた目的は忘れてしまつてゐる。従來の日本の労働運動も殘念ながら、これと同じやうな軌を踏んだこともあつた。

労働組合は合法運動が非合法運動だけを明瞭にしさへすれば良いのを、何んだ彼だと理窟許りを並べて、主義と看板の争ひに全力を盡し、労働階級の陣營を労働者自身で打ち壊し合ひを續け、労働組合本来の目的達成から遙かに遠ざかつた問題に就いて許り運動をしてゐたこともあつた。